

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	3	のびやか・雄武	整理番号	46
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	評価責任者	教育振興課長 横田 和幸
単位施策	1	推進体制の強化		

1 施策の概要

基本方針	生涯学習・生涯スポーツ推進体制を強化するため、多様な媒体を通じた情報発信や、指導者の育成、統合型地域スポーツクラブの育成、さらには、行政職員や専門家、ボランティア等による出前講座のしくみづくりなどを進めるとともに、家庭教育の充実に向けた取り組みを進める。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	住民のニーズなどに沿った学習・スポーツの機会が持てるように、各種講座やイベント等の開催、文化連盟・体育連盟の各種自主活動の支援などを進めている。	住民のニーズなどに沿った学習・スポーツの機会が持てるように、各種講座やイベント等の開催、文化連盟・体育連盟の各種自主活動の支援などを進めている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	指導者の育成・確保や活動施設の確保、わかりやすい情報の提供などを通じて、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、スポーツを楽しむまちづくりを進めていくことが必要であり、住民一人ひとりに対して、より裾野を広げていく必要がある。	指導者の育成・確保や活動施設の確保、わかりやすい情報の提供などを通じて、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、スポーツを楽しむまちづくりを進めていくことが必要であり、住民一人ひとりに対して、より裾野を広げていく必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	社会体育団体活動費助成事業	生涯教育係	540	A	継続/現状維持	A
②	【再掲】社会教育関係団体活動費補助事業	生涯教育係	650	A	継続/現状維持	A
③	【再掲】家庭教育推進事業	生涯教育係	284	A	継続/現状維持	A
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	生涯学習・生涯スポーツの推進体制の強化については、生涯にわたる学習及びスポーツを行う機会の確保等を図るうえで重要な施策である。
② 有効性	B	本施策の実施により、少子高齢化等を背景に対象人口の緩やかな減少傾向はあるが、生涯学習・生涯スポーツ基盤の維持を図るとともに、家庭教育への間接的な支援等により、概ね有効に施策の推進を図った。
③ 効率性	B	本施策については、生涯教育・生涯スポーツにおいて、自助・共助・公助の考え方により、行政は住民自身や団体等への推進環境の整備支援を行っており、住民主体による概ね効率的な施策の推進を図った。
④ 公平性	A	本施策の効果は、地域住民全体に及びことから、公平性は確保されている。
⑤ 町民意見の反映	A	生涯学習・生涯スポーツの推進体制強化については、社会教育委員の会議等の意見を取り入れながら、対応を図っている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
生涯学習・生涯スポーツの推進体制の強化については、住民主体の社会教育団体及び社会体育団体活動の促進により、生涯にわたる学習及びスポーツを行う機会の確保、向上が図られていることから、引き続き現行施策の推進を図ることが必要である。	同左	

今後の方向性	継続/現状維持	継続/現状維持
継続/現状維持	継続/現状維持	
生涯学習・生涯スポーツの推進体制については、引き続きその強化を進めることで、生涯にわたる学習及びスポーツを行う住民の割合を向上させていく必要があることから、本施策を継続していくものとする。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		